

九十九人が、川の向こう岸で騒いでいようとも、
自分一人はスタスタとわが志したこちら側の川
岸を、わき眼もふらず川上に向かって歩き通す
底の覚悟がなくてはなるまい。

森信三先生一語千鈞より

再生



山山又

又

再生の題字（森畑彦様提供）は、森信三先生の直筆です。

中・高生のための「人間の生き方」

森 信三先生 講述

― 人間学 小門 ―

九 「自律」とは自分に打ち克つこと

皆さんは「存じでないと思われますが、小学校における国語教育の大家として、今なお有名な芦田恵之介先生のオコトバに、「自分を育てるものは自分外にはない」という名言があります。

そしてこの一語をより厳しく言い現わしたのが、この「自分を律するものは自分しかない」というコトバなのです。つまり自立とは、自分自身を自らの力で規制し制禦することであり、その反対語の他律は、自己ならぬ外部の他の力によつて、規制せられるということでもあります。

ところで人間はいかにすぐれた師をもち、よき教えに接したとしても、結局最後のところは、自分を律するものは自分以外にはないわけでありまして、いかに卓れた師といえども、本人が自ら律しようとしないう限り、いかんともし難いのであります。それゆえ、この自立心こそは、いわば自動車におけるブレーキ装置にも匹敵するもので、このブレーキ装置のこわれた自動車ほど危険きわまるものはないのと同じであります。すなわち、自立心なき人間ほど危なげなものはないと申せましょう。

したがって、自律はまた自立にも通ずるわけで、自律心なき人間は、真に自立すなわち、自主独立の人間とは言えないのであります。それゆえ、きびしい他律によつて自由を拘束し、規制しなくてはならぬわけです。これらのうち甚しいのは警察のお世話になり、刑法にふれば一般社会から隔離されるわけです。またそれほどにはいたらなくても、自律心なき人間は人生の落伍者として、社会の

実践人福岡仁風読書会

第77回 6月24日(土)

場所：仁風庵

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

落ちこぼれとなる傾向がつよく、まことに嘆かわしいことであります。

では、どうしておたがいに、この自律心がむつかしいのでしょうか。それは、過大な自分の欲望に打ち負かされるからだと言えましょう。かつて日紡女子バレーボールチームの監督だった大松博文氏は、世界の桧舞台で強敵のソ連チームをおさえて勝利の栄冠を獲得したわけですが、その大松監督のコトバとして、わたくしの今も忘れがたいのは、「敵に勝たんと欲するものは、まず己に克て！」とあります。そのころ大松さんは、一民間社会の庶務課長の地位でしたので、終始その任務を果たしながら、同時に選手たちも同様に、会社では終日女行員としての勤めを果たした上にそれらの選手たちに対して、「猛訓練」という程度では、どうして表現しえないほどの極度の鍛錬を加え、その結果ついにあの強大なソ連の、しかもプロ選手団を相手に、堂々勝利をおさめたのでありまして、その大松監督の全身念の表白だけに、そこにはやはり「永遠の真理」ともいうべきものが宿つていると言つてよいでしょう。

ところで、大松監督によつてこのコトバが語られるより、年代的にははるかに早い以前にわたくしは、いつも人間は「義務を先にして、娯楽を後にせよ」というコトバを、皆さん方のような若い人々に説いてきたものであります。一見したところでは、実にありふれた平凡なコトバのようですが、しかしこの真理は、誰でもその気になりさえすれば、守れぬわけではありません。しかもこれを守ることによつてその人は、確実に一歩々々自分をリッパな人間に鍛え上げてゆくことができるのです。ですから皆さん方もコトバを単に観念的な理解にとどめないで、自己の全身心をひっさげて、全力的に取り組んで頂けたら思うのであります。

それにつけても、第三章で申したように、おたがい人間は、「立腰」すなわち「腰骨をたて通すこと」によつて、真に主体性のある人間になれるのであります。ではどうして二六時中腰骨をたて通すと、主体的人間になれるのか、何ゆえ、そうした重大な意義をもつかと申しますと、それはわれわれ人間は、「存じのように身心相即的な存在であつて、心と身体とは元来離れないはずのものであります。ところが、われわれの心というものは、とかく体とは個別の作用をしやすい一面があるのでありまして、それ故身体をおさえて支配するようにしなくてはならぬわけです。ですから皆さん方も、ひとつ実際にやつてみてごらん下さい。それには、まず(一)尻をウンとうしろに引いて、つぎには(二)腰骨のところを、ウンと前に突き出すのです。そして次には、(三)下腹の辺に心もち力を入れるのです。とにかく皆さん方もこのコトバ通りによく守つて、やり通してみてごらん下さい。すると皆さん方は、少なくとも腰骨を立てている間だけは、シャンとした気持ちを失わないでいられますよう。

それ故、わたくしが今説明したような姿勢を、一日中続けることによつて、われわれ人間には、集中力と持続力が身につくとき、そのうえさらには判断力さえ明晰になるのであります。否、そればかりか、われわれ人間はそれによつて、一だんと行動的になり実践的になるのであります。

もしそうだと思う人があつたら、これから夜寝るまでの間、ひとつやりつづけてごらん下さい。そうしてその調子でやりつづけたら、それだけでも一おう大したものといえましょう。同時にその調子で一カ月やり、二カ月つづけ、さらに三カ月つまり百日つづけたら、もうその人には、すでに主体性の土台が出来たといつてよいでしょう。

ついでですが、わたくしは、十五才の時から腰骨だけは立てつづけて来ましたので、立腰まさに七十年というわけであります。ですからわたくしの今日あるのは、全くこの腰骨を立てつづけてきたお陰であります。自分のこれまで計画したことは、一おう何とかやりとげることができましたのも、全くこの立腰のお陰で

あつて、これこそ実に生涯の感謝であります。

君達は 有 正 省 三

君達は

厳寒の中 くる日もくる日も

早朝練習に励んだ

ある者は 夜も明けきらぬ暗い中

自分で弁当をつくり

白い息を凍てた野に残しながら 馳せ参じた

君達は

真夏の焼けつくようなコートで

流れ落ちる汗を ぬぐおうともせず

ひたすら白球を追った

「一球」のために 心を研ぎ 技を磨く

ある者は倒れ ある者は坐り込む

それでも君達は

確実に連日五時間の練習に耐えた

君達は

すべての情熱を テニスに注いでくれた

自分の能力を出し切ることによつて

そして何よりも自分に打ち克つことによつて

栄光の戦士となったのだ

ありがとうみんなよ

心優しき戦士たちよ

第一章 人の行かない道を行く

傲りを捨てて誇りをもつ

誇りを育む生き方を



私たち大人にいま求められているのは、これまでの傲りを捨て去り、誇りをもった生き方をするのでありましょう。誇りは何もしないのに生まれるものではありませんし、また少々のことをしたただけでもいられません。

誇りある生き方を一言で表せば「働くこと多くして、得ることの少ない」生き方でありましょう。いくら多くのことをしても、働くことを得るものが等しい「等価交換」のような生き方をしている人には、誇りが生じないと思います。また自分に備わった力を、すべて自分のためだけにしか使わない人にも、真の自信と誇りが生まれることはありません。

自分に備わった力、与えられたものを、どれだけ他の人や社会のために費やせるかに比例して、大きな誇りをもつことができると確信します。

日本の大人が真の自信に満ち、誇り高く謙虚に生きることが、子どもたちを健全に導き育てる道であります。

五万世帯、十二万人の広島市東区において区役所の職員の方々、東警察署の警察官の方々、学校の先生と保護者の方々が一丸となって学校の大掃除をしたところ、学校だけではなく地域一帯が活き活きとし、環境が整ったという素晴らしいことが起こりました。大人の謙虚な姿は、百回の訓戒に勝るといふ好例であります。次の世代を託す子供たちのために、骨身を惜しまない姿勢が一番の良薬であると信じます。

私たち大人にいま求められているのは、

傲りを捨て去り、誇りをもった

生き方をするのでありましょう。

日本の大人が真の自信に満ち、

誇り高く生きることが、

子どもたちを健全に導き育てる道であります。

日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 355 回

博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前 6 時 15 分～

【第一回】平成 5 年 12 月 8 日開催

福岡実践人・JR 九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 ハウスメイト



第355回 博多駅早朝清掃
6月8日(木曜日)

30年目のスタート！
62名参加



第355回「博多駅早朝清掃」、三十周年まであと5回となりました。帆足先生の蒔かれた種（実践）は、継続を積み重ね、30年という歴史の一頁を刻もうとしています。鍵山秀三郎先生の教えの下、地道に活動してきた参加者、学生さんたちの後輩への引継ぎ、見事なバトンリレーが実ろうとしています。感動の一言です。



2023/06/08



2023/06/08

博多駅副駅長のあいさつ



2023/06/08

初参加の皆さん



2023/06/08

福岡大学の先生と学生さん



2023/06/08

お世話していただいた皆さん



2023/06/08

多数回参加の女子高生たち



2023/06/08



2023/06/08

雨に濡れたシンボル旗

～古き良き時代の日本再生～

とんぼろ

Instagram



@RAKUNOUJIN1962

=== 心を耕し、生を拓く ===



第5回 とんぼろ海掃隊海岸清掃in長目の浜 R5.6.17

とんぼろ海岸清掃／薩摩川内市 in長目の浜

第5回 長目の浜海岸清掃 《楽農人／とんぼろ海掃隊》



後援



2023/06/17



2023/06/17

最高齢参加者は、91歳です!!



2023/06/17

東京からの若き海援隊



2023/06/17



2023/06/17



2023/06/17

第5回とんぼろ海岸清掃、10名での活動が出来ました。東京大阪からも道友が参加してくれました。楽農人が3年かけて集めたゴミの山、10人でやると100倍片付きました。楽農人のおにぎりで歓談も賑わいました。



楽農人放浪記 010

鹿児島県 始良市 南九州市 薩摩川内市

NPO:法人楽農人



始良市に心土ん納品



微水稻の苗も芽出しが十分できていました。



船で離島へ心土ん運搬



心土んとサツマイモの苗



楽農人放浪記 011

大分県中津 福岡県宇美町

NPO:法人楽農人



2023/06/20



2023/06/20

平飼いでストレスフリーの養鶏場



2023/06/23



2023/06/23

深谷の農友さんから白ネギの苗が届けられました



2023/06/26

楽農人の試験農場で！



2023/06/24

仁風庵の鹿の子ゆり

福岡掃除に学ぶ会に起因するお掃除実践等

下記のような活動を継続しています、参加をご希望される方は、各世話人にお問い合わせください。

令和5年7月現在

	種蒔き	種蒔き日	活動の名称	実施場所	開催日	時間	世話人	連絡先	Mail
1	帆足	H5.12.8	博多駅早朝清掃	博多駅博多口	毎月8日	6時15分～7時30分	富吉	090-3190-5490	fukusoukai@souji.link
2	石津・池田・山本・富吉	H28.6.19	博多冷泉公園トイレ磨きに学ぶ会	冷泉公園公衆トイレ	毎月第3土曜日	6時30分～7時30分	池田純子	090-1926-2200	fukusoukai@souji.link
3	池田・富吉	H28.12.17	住吉神社便教会	住吉神社境内トイレニヶ所他	毎月第4土曜日	6時30分～7時30分	川島文雄	090-5384-0450	
4	富吉	H30.6.2	福岡空港ミリオン清掃	福岡空港周辺	毎月第1土曜日	早朝	富吉	090-3190-5490	fukusoukai@souji.link
5	赤間・小池・富吉	H30.4.18	新しいづか駅街頭清掃	新しいづか駅周辺	毎月第3土曜日	6時30分～7時30分	小池正博	090-9403-3580	fukusoukai@souji.link
6	森崎	R2.1.25	令和を巡る早朝清掃 大宰府作務に学ぶ会	太宰府市戒壇院	毎月第1日曜日	6時30分～7時30分	森崎裕道 富吉	092-710-1351	kaidanin@souji.link
7	富吉	R5.2.18	とんぼろ掃除に学ぶ会 楽農人とんぼろ海掃隊	長目の浜海岸	毎月第3土曜日	6時30分～8時00分	富吉	090-3190-5490	tonboro@rakunoujin.club
8	富吉	H28.9.1	機関誌「再生」	福岡清爽クラブ 楽農人	毎日8日	メール配信 郵送 Line配信	富吉	090-3190-5490	fukusoukai@souji.link
9	富吉	H30.3.20	5 5 5 森信三 金言配信 8 1 8 凡事徹底 配信	福岡清爽クラブ Lineグループ	毎日	5時55分 8時18分	富吉	090-3190-5490	fukusoukai@souji.link

博多駅早朝掃除に二十周年に寄せて

日本を美しくする会 相談役 鍵山 秀三郎
「十年偉大なり、二十年畏るべし」。

博多駅周辺の早朝掃除を、二十年という畏るべき年月の間続けていただきました。この会を支えていただきました皆様に、改めて厚くお礼申し上げます。

毎月八日、二四〇回その間一回も欠かさず実践されまして敬意を表します。

二十年の間に多くの方が学んでいかれました。幼児から参加したお子さんも、いまは立派な社会人になっておられるでしょう。小中高、大学生も大勢参加してください。成長を遂げていらっしゃることで、暑さ活動のために朝早くから起きること、暑さ寒さに堪えること、実践から学校で学ばなかつたことも貴重な体験として身につけられたことと思います。

精華女子高校の生徒さんは定期的に参加してください、その純真で清楚な姿は、多くの人たちの賞賛の的となりました。またこのような地味な活動に黙々として取り組んでいる姿は、子どもたちにとって学ぶことが多かったと思います。それは「この街の子どもたちは、この街の大人の姿から学ぶ」のですから。二十年前に始めた頃は、

沢山のゴミが溢れていて、側溝や排水桝は全て詰まっています、本来の役割が果たせなくなっていました。二十年たった今は、ゴミが見違えるように少なくなり、きれいな場に変身しました。二四〇回の間に参加された方々の延べ人数はわかりませんが、皆様の至誠が街の浄化に大きな役割を果たしたと確信いたします。

博多駅を利用する人たちの中で、汚い所が好きなのは一人も居りません。皆きれいな所が好きなのです。しかし、残念なこと、自分がきれいにしようとする人は、とても少ないのです。博多駅の掃除に参加してください。その少ない中の貴重なお方です。しかも毎月、あなたも責務でもあ

るかのよう、すゝんで集まってくださり

終了後は黙って去っていかれます。

老子が説く「善行無軌跡」、すぐれた進み方というものは、轍や足跡を残さないといい生き方そのものです。

今の日本は、上を向いて昇ろうとする人は多いですが、下に降りて足下を確かめようとする人が少なくなりました。上を目指すことは大事ですが、時には下に降りて足元を固めることも大事です。上ばかり見ていると足元がゆらいで不安定になってしまふからです。博多駅の掃除に参加される方々は、自ら率先して下に降りていき、身を低くして足元を固められることに大きな意義があります。そこには個人の利益はなくても、社会という共同体を守る上で大きな意義があります。

昔も今も、大方の人が「利益がなければ意味がない」という考え方で生きていた時に、齊の国宰相であった晏嬰（通称晏子）は「益は無くて意味はある」という考え方を生涯を通して貫きました。

博多駅早朝掃除に参加してくださる方々は、歴史に残る晏子と同じ考え方をもちていらっしゃる方々と思います。皆様を通して正しく清い生き方を世の人々にお伝えいただければ幸いです。

帆足先生が時かれた「博多駅早朝清掃」という実践の種は今年十一月で三十年を迎えます。鍵山相談役が二十周年に寄せられた言葉に「十年偉大なり、二十年畏るべし」と称賛していただきました。あれから十年、皆様のおかげ様で、さらに実践と継続を重ねて次のステージへと「博多駅早朝清掃」は成長することが出来ました。

「三十年歴史となる」。

この場に帆足先生が不在なのは残念なことですが、天上来から見守り継続を喜んでおられることと思います。相談役におかれましては末永くこの『博多駅早朝清掃』を支えていただき、見守り続けてくださっていること心より深く感謝し、御礼申し上げます。博多を世話する立場として、「一人の百歩より百人の一步」という相談役の教えの種蒔きを継続してまいります。富吉 架裳 右衛門 拝

福岡・福岡市東区東区街門
季節の掃除

開地期は
七月二〇日頃。美しい色の
世界に広がります
かたし、カクコユリです



鹿島の子やりの
美しき花
鹿島県鹿島薩摩川内市
鹿島

	7月				8月				9月				10月				11月
日	1	2	8	15	5	6	8	19	3	7	8	16	1	7	8	21	8
曜	土	日	土	土	土	日	火	土	日	土	金	土	日	土	日	土	水
行事活動名	福岡空港ミリオン清掃62回	戒壇院早朝作務 第1回	博多駅早朝清掃 第356回	長目の浜海岸清掃 第6回	福岡空港ミリオン清掃63回	戒壇院早朝作務 第2回	博多駅早朝清掃 第357回	長目の浜海岸清掃 第7回	戒壇院早朝作務 第3回	福岡空港ミリオン清掃64回	博多駅早朝清掃 第358回	長目の浜海岸清掃 第8回	戒壇院早朝作務 第4回	福岡空港ミリオン清掃65回	博多駅早朝清掃 第359回	長目の浜海岸清掃 第9回	博多駅早朝清掃 第360回
場所	福岡空港周辺	太宰府市戒壇院境内	博多駅博多口	鹿児島県薩摩川内市	福岡空港周辺	太宰府市戒壇院境内	博多駅博多口	鹿児島県薩摩川内市	太宰府市戒壇院境内	福岡空港周辺	博多駅博多口	鹿児島県薩摩川内市	太宰府市戒壇院境内	福岡空港周辺	博多駅博多口	鹿児島県薩摩川内市	博多駅博多口
開始時刻		6時30分	6時15分	6時30分		6時30分	6時15分	6時30分	6時30分		6時15分	6時30分	6時30分		6時15分	6時30分	6時15分
運営団体	福岡掃除に学ぶ会	太宰府作務に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	楽農人 とんぼろ海掃隊	福岡掃除に学ぶ会	太宰府作務に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	楽農人 とんぼろ海掃隊	太宰府作務に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	楽農人 とんぼろ海掃隊	太宰府作務に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	楽農人 とんぼろ海掃隊	福岡掃除に学ぶ会

上記行事予定表は、富吉の参加する予定を掲載させていただいています。
その他、活動しているお掃除実践もごしますので、事務局にお問い合わせください。

発行人(編集人) 富吉 袈裟右衛門

◇NPO法人福岡実践人 福岡掃除に学ぶ会

Lineグループ運営:福岡清爽クラブ

◇福岡仁風読書会

◇NPO法人楽農人 とんぼろ海掃隊

〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 《仁風庵》

TEL 092-931-8155 FAX 092-931-8120

E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)



@F_JISSENJIN

